



北海道観光振興機構 広報誌

HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION HTO PRESS

Vol. 30



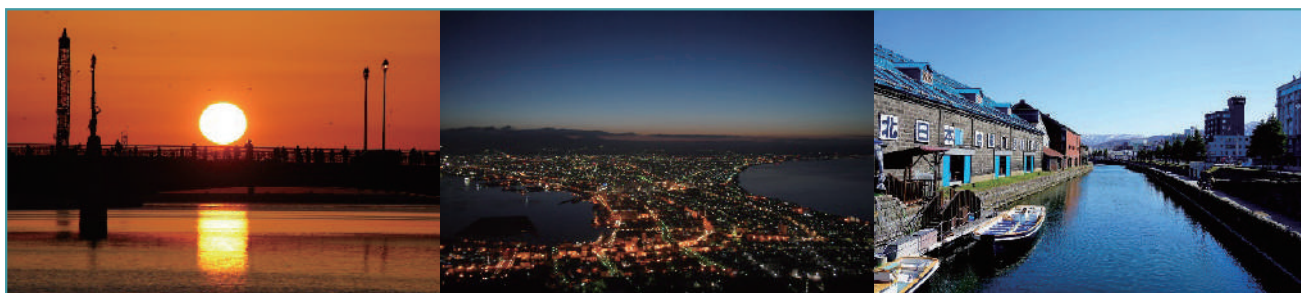
北海道観光PR
キャラクター
キュンちゃん

Contents

02 | 特集
教育旅行支援事業
について

04 | 世界で日本で北海道観光のプロモーション
HTOレポート
10 | HTOリサーチ

11 | キュンちゃんの小部屋
北海道観光振興機構の
お知らせ



北海道で実施する 修学旅行等への支援

教育旅行支援事業 について

道内外の学校が、北海道内で実施する教育旅行において、新型コロナウイルス感染症対策として、貸切バス及び宿泊施設での感染リスク低減に取り組むために必要な費用を予算の範囲内で支援します。

はじめに

北海道が実施する教育旅行支援事業は、道内で実施される教育旅行において、新型コロナウイルス感染症対策として貸切バス及び宿泊施設での感染リスク低減に取り組むために必要な費用を支援し、道内の観光関連施設への「新北海道スタイル」等の感染症対策の取組状況に関する情報発信や相談対応等の安心・安全な受入体制整備をPRすることで、道内への教育旅行の誘致を図ります。

【申請期間】令和3年4月23日～令和4年1月31日まで

教育旅行支援事業支援金について

支援金の内容及び交付額

区分	支援金の内容・交付額	上限額
(1)貸切バス等追加借上支援	通常1クラスで1台利用する貸切バス等を2台に増やして実施する場合の2台目の利用等に係る貸切バス等料金の実費(増加経費)	1台1日あたり ※日数の制限なし 140,000円
(2)宿泊部屋数増への支援	1部屋あたりの宿泊人数を減らして実施する場合の部屋数増等に伴う宿泊料金の実費(増加経費)	1人1泊あたり ※泊数の制限なし 3,000円

対象者

北海道内で教育旅行を実施する国内の学校(小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校及び専修学校)に対し貸切バス及び宿泊施設での感染リスク低減に取り組む旅行の手配を行う旅行会社及び北海道内で教育旅行を実施する国内の学校で、貸切バス及び宿泊施設での感染リスク低減に取り組む旅行の手配を自ら行う学校を対象としています。

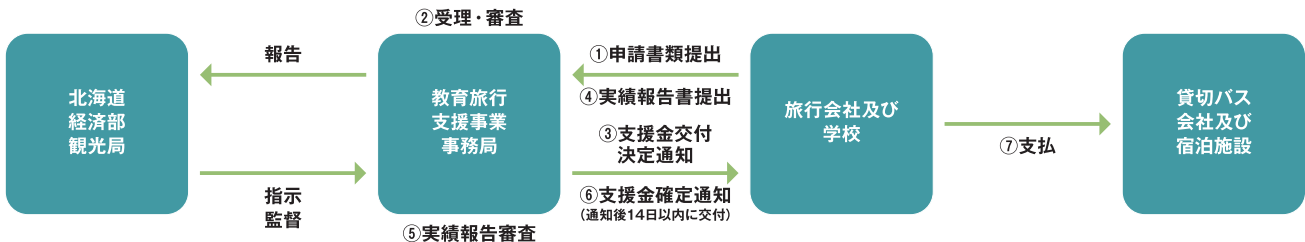
対象となる教育旅行

- 令和3年4月1日から令和4年2月28日までの間に実施されるもの。
- 道内において見学や体験を実施し、かつ、道内において1泊以上宿泊するもの。または道内の冬季観光施設を利用してスキー、スケート等の活動を行うもの。
- 支援金交付の対象となる教育旅行について、北海道が実施する他の支援事業等を利用していないもの。

申請から支援金交付までの流れ

旅行会社及び学校から提出された申請書類を受理後、事務局で正確に審査した上で申請者への通知を行い、教育旅行終了後提出された実績報告書を再び審査し、支援額が確定した旅行会社及び学校に随時、助成金の振込を行います。

なお、昨年度までは郵送での申請でしたが、今年度から北海道教育旅行サイト内に専用のウェブサイトを立ち上げ、電子申請に移行したことにより申請書類作成における利便性の向上や審査時間の軽減に繋がっています。



実施体制について

本事業を円滑に実施するにあたり、道内外校の教育旅行の実態を把握している当機構と道内への教育旅行誘致に関し多くの実績を持つ「株式会社JTB」「株式会社近畿日本ツーリスト北海道」「株式会社日本旅行北海道」及び道内で広告代理業など幅広く事業を展開している「株式会社JR北海道ソリューションズ」の5者でコンソーシアムを構成し、各事業者が今日に至るまで積み上げてきたノウハウを基に全国各地の旅行会社や学校から寄せられる問合せへの対応や各種申請書類の審査を行っています。

■実績

本事業は令和2年度においても実施し、道内外の学校の教育旅行誘致に大きく寄与しています。

- 支援金交付件数 1,683件 (道内校:1,572件 道外校:111件)
- 支援金交付額 734,893,474円 (道内校:631,485,590円 道外校:103,407,884円)

■事務局への主な相談内容

旅行会社及び学校から寄せられる相談に対応し、道内での教育旅行実施に向けて様々なバックアップを行っています。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ① 道内施設のコロナ対策の現状 | ⑤ 書類の記載方法 |
| ② 現地でのコロナ発生時の連絡先や対応方法 | ⑥ 準備する書類(エビデンス)の確認 |
| ③ 道内での見学地や体験可能施設について | ⑦ 書類不備への回答 |
| ④ コロナ禍での休業施設の状況 | など |

■おわりに

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、インバウンドや国内旅行の誘客が停滞する中、教育旅行については、全国の児童生徒の貴重な学習の機会として継続した需要が見込まれています。

教育旅行支援事業事務局では今後も新北海道スタイルの周知徹底を行い、北海道での安心・安全な修学旅行の実現を目指します。

北海道教育旅行サイト <http://hokkaido-syuryo.com/>



■お問い合わせ・相談窓口

教育旅行支援事業事務局 メール: kyoikushien-info@hkd-kyoryo.com TEL: 011-218-0135
 ※受付時間 10:00~17:00 (土日祝、年末年始を除く)

国内誘客部

今号の
トピックス

LINEからの北海道魅力発信が加速します！ 北海道観光情報のプラットフォームがより便利に！

国内誘客部では北海道の魅力为全国へ発信するため、2020年度にLINE公式アカウント「GoodDay北海道」を立ち上げ、北海道観光PRキャラクター「キュンちゃん」がアンバサダーとなり、「キュン」とする全道の食や観光素材を写真・動画で発信して参りました。21年度は各種プロモーションや広告配信を行い、コンテンツの拡充や発信数を増やし、お友達（ユーザー）に喜んでいただけるよう発信力に磨きをかけて参ります。

また、2020年度は、新たに旅行会社様の造成担当者およびカウンター担当者に対して北海道の観光情報を発信するWEBサイトとして「HOKKAIDO TRAVEL NAVI」を開設致しました。駐車場の許容台数やトイレの有無、イベント情報や観光モデルケース、フォトライブラリーなど、詳細な情報を多数掲載しており、21年度は2000件以上の登録を目標として参ります。全国の旅行会社の皆様へタイムリーに情報発信いただけますので、機構会員様はもちろん、道内観光施設および宿泊施設様にも是非情報登録いただければと存じます。お待ちしております。



Good Day 北海道 公益社団法人北海道観光振興機構



費用不要！
簡単登録！

WEBサイトURL

<https://travel-navi.visit-hokkaido.jp/>

上記URLよりサイト閲覧が可視です。
また「新規登録」ボタンより新規ユーザー登録をすることが可能です。

■HOKKAIDO TRAVEL NAVI

<https://travel-navi.visit-hokkaido.jp/>

担当
菊地



今後のスケジュール>>>

実施内容	7月	8月	9月
北海道ブロック記者発表会	●7月15日 会場:東京赤坂		●9月16日 会場:東京赤坂予定 ●9月中旬頃 会場:名古屋市内予定
道外プロモーション	●7月15～20日 まるごと北海道! 旅気分出展 会場:イオンレイクタウンMORI(埼玉) ●7月16～19日 北海道ウェルカムパーク出展 会場:羽田空港		●9月中旬頃 名古屋県人会まつり出展予定
道内プロモーション	●7月21日～8月8日 オリンピック関連事業出展	会場:札幌駅前通地下歩行空間	

海外誘客部

今号の
トピックス

アフターコロナを見据え、 英国のロンドンにレップオフィス機能を設置

2019年度に発生した新型コロナウイルス感染症拡大の長引く影響により、訪日旅行再開の目途が未だに立ってはいませんが、英国においてはワクチンの接種が進み、感染者数も減っていると、海外旅行再開の機運が高まっています。アフターコロナを見据え、観光消費額の高い欧州市場へのアプローチが必要な状況から、英国での北海道観光レップ事業を実施します。

本事業では、欧州からの訪日旅行者目線で、現地旅行事業者及び現地メディア等に対するセールス活動や質の高い最新観光情報等の発信・提供、誘客プロモーションを行うため、英国のロンドンにレップオフィス機能を設置します。

欧州市場における北海道の認知度を高め、今後に向けて北海道への訪問客拡大を目指します。

【実施概要】

- 事業開始予定 : 6月下旬
- 対象国 : イギリス・フランス
- 主な内容

- (1) 英国での情報発信とセールス活動
- (2) 英国にて北海道観光BtoBセミナーの開催
- (3) 現地旅行博の出席



担当
伊藤

今後のスケジュール>>>

実施内容	7月	8月	9月
英国での北海道観光レップ事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 7月上旬 ロンドンにオフィス機能設置 ● 7月中旬 ニュースリリースとプレスリリース ● 7月下旬 現地での営業開始 		
東京オリンピック・パラリンピック2020を契機とした観光プロモーション事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 7月下旬 JNTO観光PRイベント出展(東京) 7/29(木)30(金) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 8月～ オンラインセミナー実施予定(海外メディア対象) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 9月～10月 招聘(在日海外メディア対象)～翌年2月 海外メディアでの記事掲載予定
SNSを活用した北海道観光情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道の夏の観光情報を配信 ● 中国語簡体字、繁体字について、毎日投稿 ● タイ語、英語、韓国語について、週4回投稿 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道の夏、秋の観光情報を配信 ● 中国語簡体字、繁体字について、毎日投稿 ● タイ語、英語、韓国語について、週4回投稿 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道の秋の観光情報を配信 ● 中国語簡体字、繁体字について、毎日投稿 ● タイ語、英語、韓国語について、週4回投稿

地域観光部

今号の
トピックス

令和3年度「地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業」採択事業が決定

「地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業」は、地域の観光地づくりを幅広く支援する制度で、毎年多くの地域の観光関係者（自治体・観光協会等）にご活用いただいています。

当事業は、コロナ禍において、減少している道内への観光客を回復、更には拡大させていくために、地域の受け入れ体制の整備や満足度の高い観光地づくりを推進し、交流人口や観光消費の拡大に繋げ、地域経済の活性化を図ることを目的としているものです。

今年度は「ワーケーションの推進」を最重点に、「アドベンチャートラベルの推進」等の5つの事業に重点的に取り組む106件の事業を採択しました。採択地域では6月より順次事業に着手・開始します。

なお、採択事業は、当機構会員サイトに掲載の一覧表にてご確認下さい。

今後、地域観光部の各エリア担当が、それぞれの地域が着実に事業を推進できるようフォローをするとともに、外部のアドバイザーを派遣するなどの側面支援を行ってまいります。

令和2年度表彰団体



- 1.『鮭、日本一のまち観光資源化事業』（斜里町水産振興会）※2年連続
- 2.『そらちワーケーション・テレワーク推進プロジェクト2020』（(一社)岩見沢市観光協会）
- 3.『一年中めむろを自転車です楽しむ仕組みづくり』（芽室町サイクルツーリズム協議会）※2年連続
- 4.『オホーツク網走アドベンチャートラベルコンテンツ造成事業』（(一社)網走市観光協会）

担当 三浦 赤淵



今後のスケジュール>>>

実施内容	7月		8月	9月
「ユニバーサルツーリズム推進事業（バリアフリー対応）」	●7月上旬 審査会実施	●7月中旬 事業者決定		
「ユニバーサルツーリズム推進事業（ホスピタリティ向上）」		●7月中旬 審査会実施	→	(秋以降) セミナー等 事業実施 ～会員の皆様へ随時ご案内いたします。～
「ユニバーサルツーリズム推進事業（食のユニバーサル対応）」		●7月中旬 審査会実施		
「観光人材育成事業（外国語ガイド育成事業）」	●7月 審査会実施・事業者決定	●7月下旬 事業者決定		

広域観光部

今号の
トピックス

二次交通キャッシュレス事前決済実証実験を 旭川にて実施致しました。

訪日外国人にとって、広大な面積を誇る北海道の周遊観光には効率的な二次交通の利用が欠かせません。しかしながら外国人にとって母国語以外でのチケットの購入や取り扱いは困難が伴います。

そこで訪日外国人の二次交通チケットの「旅マエ」「旅ナカ」での母国語、母国通貨での事前決済や、モバイルチケットの使い勝手を検証するため実証実験を行いました。

実証実験では日本在住の外国人（香港2名 台湾2名 中国2名 アメリカ1名 カナダ1名 ドイツ1名 アイルランド1名）にご参加頂き、事前に旭川エリアでの路線バスが定額乗車できる「あさくるバス2日券」をジョルダン社外国語サイトを通してキャッシュレス決済してもらいました。

そして2021年2月16日、17日に旭川に集合し、実際に事前決済したモバイルチケットを使って路線バスを利用しながら一人あたり5か所以上の観光地を周遊してもらい使い勝手を検証してもらいました。

モニター後、参加者にはキャッシュレス決済、モバイルチケット利用に関するアンケートを実施し、184件の提言を頂きました。アンケートでは、決済手段、機能についてはスムーズであったとの感想が多かった一方、モバイルチケットについては改善点としての提言がありました。



担当
武内

今後のスケジュール>>>

主な実施事業(予定)	事業内容
【道内を10のエリアに区分して実施する地域開発事業】 (9地域13事業)	コンテンツの開発・磨き上げ等の受入環境整備の取り組みを行う
【二次交通データの高度化とデータの有効活用事業】	コンテンツプロバイダー等がサービス提供に必要とする、より高度な二次交通情報データ等をオープンデータプラットフォームに一元化し、交通事業者等が自ら更新できる仕組みの構築を行う
【「新たな旅のスタイル」の普及促進事業】	デジタルノマドと言われる仕事をしながら旅行をする人たちが急速に増えていることから、ポストコロナにおいて訪日ワーケーション等の新たな旅行ニーズの掘り起こしを目指し、各国のニーズ把握と旅行商品の造成を行う。
【一括民間委託された道内7空港を活用した広域観光周遊モデルルート造成事業】	北海道観光公式サイト「GoodDay北海道」に道内7空港をゲートウェイとする周遊モデルルート等を設けることで訪日外国人を含む旅行者にストレスない道内周遊旅行を提供する。

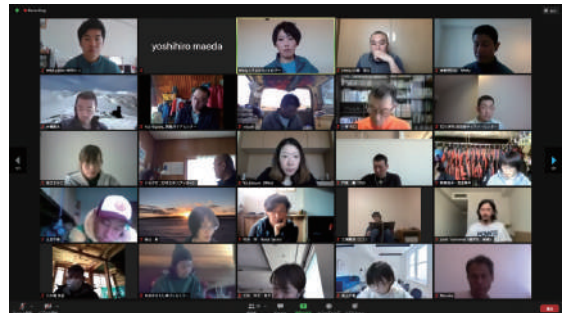
アドベンチャートラベル推進本部

今号の
トピックス

野外救命救急「ウィルダネス・アドバンス・ファーストエイド」 国際資格取得研修事業

欧米におけるアドベンチャートラベル(以下、A T。)では、野外救命救急において世界基準の資格取得が求められています。当事業では、山岳や河川など都市部から離れた場所で活躍するアクティビティガイド等を対象に、野外災害救急法(ウィルダネス・アドバンス・ファーストエイド/W A F A)を学ぶ研修を、WMA J(ウィルダネス・メディカル・アソシエイツ・ジャパン)と連携して、ハイブリッド方式で実施しています。研修内容は次の通りです。①オンライン上のビデオで座学や実技デモを学習するEラーニング(1日間)、②Eラーニングで学んだ内容を確認するオンライン・ライブセッション(1日)、③WMA公認講師による実技セッション(2日間)。約90名のアクティビティガイドが受講し、W A F A国際資格の取得を目指しています。

A T W S 2 0 2 1 は、バーチャル開催となりますが、野外救命救急の国際資格取得は、A Tの取り組みを拡大していく上で重要事項となります。当機構は、今後もA T旅行参加者の安全確保と満足度向上に向けて、A Tガイド育成事業の取り組みを強化して参ります。



今後のスケジュール>>>

主な実施事業	事業内容
観光人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 野外救急救命研修 ● アクティビティガイド語学研修
海外誘客プロモーション事業 (ATWS関連)	<ul style="list-style-type: none"> ● 商談会(ATWS2021バーチャル) ● 商談会(その他) ● 冬季招聘事業 ● AT冬季商品造成

担当
上田



マーケティング部

今号の
トピックス

ポストコロナにおける観光関連施設等の 運営のあり方に関する国内外事例調査・分析事業

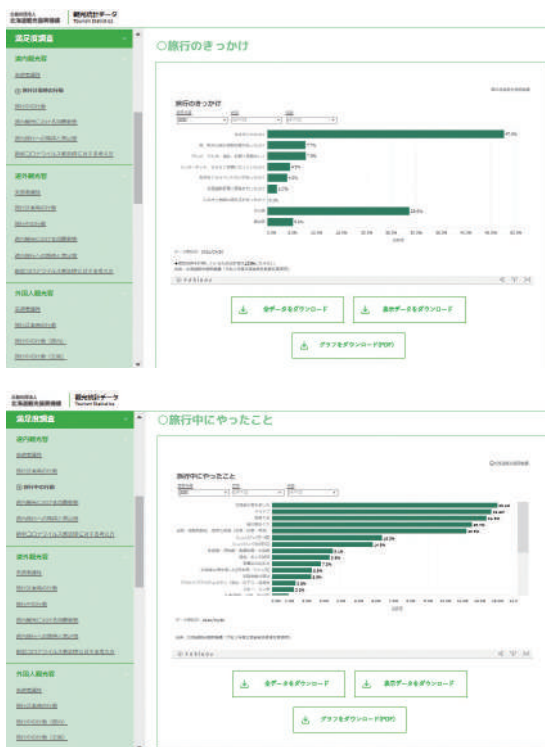
当機構では、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた新しい旅行スタイルの推進と、中長期的な視点に立ったインバウンドをはじめとする道外からの観光客の獲得に向け、新たなインバウンド等取込方策の検討につなげることを目的とした調査・分析事業に取り組むこととしています。国内外の宿泊施設やMICE施設、集客型の観光関連施設等を運営する事業者側からの視点で調査・分析を行うことで今後の運営のあり方等を整理するほか、観光客の属性や旅行実態、旅行満足度等に関するデータ入手のために例年行っている「北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査事業」も国内観光客を対象として実施する予定です。

なお、調査結果については昨年度に構築した観光統計データサイトに格納することとしています。サイトにはこれまでの調査結果や各種オープンデータも収集し掲載しておりますので、是非ご活用くださいますよう、ご案内いたします。

●北海道の観光統計データサイト

<https://statistics.visit-hokkaido.jp/>

GoodDay北海道>北海道観光振興機構について>観光統計データサイト



担当 堀 松本



今後のスケジュール>>>

実施内容	7月	8月	9月
ポストコロナにおける観光関連施設等の運営のあり方に関する国内外事例調査・分析事業	●ヒアリング、意見交換 (地域資源、新たな旅行スタイル等)	●フィールドワーク (施設整備課題、情報発信・アプローチ手法等)	→ 10月中間報告
北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査事業	●4半期ごとにアンケート及びヒアリング調査実施	→	3月とりまとめ

3月、4月と新千歳空港、函館空港を中心に来道者数が回復傾向

令和3(2021)年2月 来道者輸送実績

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
R3年2月	246,687	207,260	11,700	27,727
R2年2月	921,864	838,754	44,300	38,810
対前年比	26.8%	24.7%	26.4%	71.4%

航空機利用による来道者数(空港別)

(単位:人)

エリア	新千歳 丘珠	函館	旭川	稚内	中標津	帯広	釧路	女満別	紋別
R3年 2月	172,456	9,377	8,298	0	39	5,790	4,818	5,680	802
R2年 2月	679,055	41,111	40,795	1,922	3,204	25,173	20,194	23,517	3,783
対前年比	25.4%	22.8%	20.3%	0.0%	1.2%	23.0%	23.9%	24.2%	21.2%

(2021年3月北海道観光振興機構調べ)

2月の来道者数は総数で約24万6000人と対前年比26.8%となりました。

令和3(2021)年3月 来道者輸送実績

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
R3年3月	464,864	397,018	23,200	44,646
R2年3月	383,942	326,536	17,000	40,406
対前年比	121.1%	121.6%	136.5%	110.5%

航空機利用による来道者数(空港別)

(単位:人)

エリア	新千歳 丘珠	函館	旭川	稚内	中標津	帯広	釧路	女満別	紋別
R3年 3月	342,774	18,752	12,411	0	0	8,399	6,810	7,126	746
R2年 3月	267,919	17,051	14,001	865	994	9,809	7,598	7,355	944
対前年比	127.9%	110.0%	88.6%	0.0%	0.0%	85.6%	89.6%	96.9%	79.0%

(2021年4月北海道観光振興機構調べ)

3月の来道者数は、総数で約46万4000人で対前年比121%。

令和3(2021)年4月 来道者輸送実績

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
R3年4月	406,629	339,355	20,300	46,974
R2年4月	154,507	110,804	8,200	35,503
対前年比	263.2%	306.3%	247.6%	132.3%

航空機利用による来道者数(空港別)

(単位:人)

エリア	新千歳 丘珠	函館	旭川	稚内	中標津	帯広	釧路	女満別	紋別
R3年 4月	282,645	22,723	11,742	101	190	8,363	6,646	6,198	738
R2年 4月	90,405	6,355	4,492	234	220	3,087	2,836	2,816	359
対前年比	312.7%	357.6%	261.4%	43.2%	86.4%	270.9%	234.3%	220.1%	205.6%

(2021年5月北海道観光振興機構調べ)

4月の来道者数は総数で約40万6000人。輸送機関別では、航空機が対前年306%、JRでは対前年247%。航空機、JRを中心に対前年を大きく上回る結果となった。

道内への直接入国者数については、新型コロナウイルス感染症による入国規制により、今号については、掲載を見送らせていただきます

北海道観光PRキャラクター
**キュンちゃんの
小部屋**

**キュンちゃんが
北海道の情報をお届け
LINE公式アカウント誕生!!**

3月25日配信
ほっかいどう旅日記

キュンちゃんが北海道の情報を紹介するLINEが誕生♪北海道の魅力をみんなにお届けするので♪お友達募集中!みんなも登録してね♪



step 1

QRコードを読み取る

step 2

ボタンを押して友だち追加する

step 3

お友だち登録完了!

北海道観光振興機構とは

北海道における観光の振興と地域活性化を目的として、様々な社会環境の変化に対応し、国内外への観光客誘致や地域の基盤整備、連携促進などを行う組織です。

- 基本理念** 道民と一体となって、観光を北海道のリーディング産業に導き、観光で地域を活性化します。
- 行動指針** 北海道の地域と産業を牽引する観光の中核組織としての役割を果たします。
- 事業概要** 5つの事業機能をもつ組織です。

1 北海道観光戦略の推進機能

- ・北海道観光戦略の企画推進
- ・観光に関する提言・要望活動
- ・北海道さっぽろ食と観光情報館受託
- ・各種セミナーの開催

5 プロモーション推進機能

- 国内**
 - ・国内観光プロモーション
 - ・誘客部会の運営
 - ・首都圏記者発表会
- 海外**
 - ・海外観光プロモーション
 - ・新千歳空港観光案内所

機動性と専門性を発揮します

各界の力を集結します

民間の英知と資源を活用します

ますます充実! 北海道の観光案内所



JR札幌駅内
北海道さっぽろ「食と観光」情報館
対応言語 / 日本語・英語・中国語・韓国語

JR札幌駅の「北海道さっぽろ「食と観光」情報館」内にあり、JR総合案内所が併設。専門のスタッフが日本語以外に、英語、中国語、韓国語にて旅行相談に応じ、最新の観光情報を提供いたします。観光機構作成パンフレット及び会員施設のパンフレットが各種陳列されています。

住所 / 札幌市北区北6条西4丁目JR札幌駅西コンコース北口
北海道さっぽろ「食と観光」情報館内
営業時間 / 10:00~17:30 定休日 / 年中無休
※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、観光案内窓口を休止する場合があります。ご利用時は電話にてご確認ください。
問合せ / 電話011-213-5088



JR有楽町駅前(東京)
どさんこ旅サロン
対応言語 / 日本語

「どさんこ旅サロン」は、東京・JR有楽町駅前のアンテナショップ「北海道どさんこプラザ」がある東京交通会館の3階に入っています。道内各地のパンフレットを取り揃えているほか、案内カウンターでは、スタッフによる観光・イベント情報のご案内やご旅行相談も承っております。

住所 / 東京都千代田区有楽町2丁目10-1 東京交通会館3階
営業時間 / 11:00~19:00
定休日 / 土・日・祝、年末年始、施設の本館休業日
問合せ / 電話03-6206-3163

会員募集中! 入会申込みの詳細は、こちらにお問合せください

GoodDay北海道ウェブサイト内
「北海道観光振興機構について」
<http://www.visit-hokkaido.jp/company/>
北海道観光振興機構 総務部(受付/月~金 9:00~17:30)
TEL.011-231-0941

Good Day 北海道
北海道観光公式サイト <http://www.visit-hokkaido.jp/>

北海道観光振興機構広報誌 HTO press vol.30(令和3年6月24日発行)

HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION [発行]公益社団法人 北海道観光振興機構
〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目緑苑ビル1F
TEL.011-231-0941 FAX.011-232-5064

今こそ、安心・安全の感染防止・予防対策を！

この度の新型コロナウイルスの感染拡大で経済もかつてない危機的状況となり、更に感染防止対策も合わせて経営に大きなご負担となり心からお見舞い申し上げます。私共旅行業も平素より皆様と共にお客様をお迎えし、共に歩んで参りましたが、現状の一刻も早い終息と、回復に備え、旅行のご提案のみならず様々な感染防止・予防対策準備をご提案させていただきます。是非、内容をご一読頂き、活用に向けてご検討を頂きますようお願い申し上げます。

商品名：①無光触媒抗菌施工 (特許・各種効果エビデンスを取得済み)

太陽光(紫外線)照射によって効果を発揮する光触媒酸化チタンを出発原料とし、それをリン酸と反応させたことで、光を全く必要としない、暗所においても抗菌・消臭・防汚などの効果を発揮する画期的な触媒、それが「リン酸チタニア」です。これは、VOC(揮発性有機化合物)の原因物質や硫化水素、アンモニア、アセトアルデヒド等を分解し、空間等の大気浄化をし、いやな臭いを分解します。更に、空間において生存する有害菌の増殖を阻止し、細菌を激減させます。また、無光触媒の持つ親水性・帯電防止作用が汚れなどの付着防止で劇的な抗菌効果が見込まれ、**抑制期間は4~5年!**

【有機物分解/抗菌】

無光触媒の表面上(リン酸チタニア)に O_2 (酸素)と H_2O (水分)が触れることにより、 e^- (電子)と h^+ (正孔)が生じます。この電子は酸素と、正孔は水分とそれぞれ反応を起こし、スーパーオキシドイオン(通称マイナスイオン)と水酸化ラジカルとなる2種の活性酸素を生成します。活性酸素は、酸化力が強く、有機物の持つ電子を奪い分解します。有機物とは、ニオイ、汚れ、細菌の元と言える物質ですので、防臭・汚泥・抗菌効果が発揮する事ができます。

無光触媒は、空気に反応をして抗菌効果を生じますので、夜間やくもり・雨の日などでも変わりなく効果を維持します。(無光触媒に対して、光触媒は光量を必要とするため、暗所やUVカットのガラスを用いている場合は、効果が減少する事になります)。

採用されている主な事業者さま

●バス・トラック、ホテル・旅館、地下鉄・路面電車、自治体役場、劇場、テーマパークなど

お客様への接触感染予防やスタッフへの感染対策にもなり、イメージアップにもつながります!!
また、汚れも付着しにくく、防臭対策としても絶大の効果があります!
感染対策機器となりますため、補助金・支援金をご利用なども併用してご検討をお願いします。

施工済みステッカー



商品名：②エレクローラーSP・SS(二酸化塩素発生装置)

二酸化塩素分子が新型コロナウイルスの感染を防止するメカニズムを解明されたエビデンスがございます!(電子制御付き)

きれいな空気、そして安全で快適な環境をご提供します

家電機器との違いを実感ください!



大きなスペースに
エレクローラーSP

オフィス・工場に! ホテル・飲食店に! 介護・医療施設に! 教育関連施設に!



●適用面積:エレクローラーSPは200㎡/SSは150㎡と大きな面積をしっかりとカバー

コンパクトタイプ
エレクローラーSS



【お問合せ先】エレクローラー正規販売店・無光触媒施工販売店

株式会社 日本旅行北海道 商事事業部

メールアドレス: shoji_X@nta.co.jp (全て小文字)

TEL:011-208-0153 (平日10:00~17:00)

無光触媒施工した動画
説明を是非ご覧ください



日本旅行北海道

NIPPON TRAVEL AGENCY HOKKAIDO